

若い漁業者育成確保促進事業

瀬底 正武

漁業者の知識と技術の向上を図り、組織的な学習や活動をとおして相互の堅密な連携と情報交換を行うことにより、漁村の人づくりと活性化を推進する為、国庫補助事業「若い漁業者育成確保促進事業」を実施した。

1. 漁村青少年協議会

この協議会は、漁村青壮年婦人グループの自主的な活動運営を助長する為、グループの代表者を主体に漁業士、市町村及び漁業団体の職員並びに学識経験をもって構成し、任期は3年となっている。

漁村青少年協議会はグループの意向の集約を行うと共に計画や実施状況について協議した。

平成6年度は、本島地区、宮古地区、八重山地区においてそれぞれ3回づつ協議会が開催された。

2. 学習会

この事業は、地域振興を図る為、地域における未開発の技術又は経営手段の導入にあたって後継者自らが地域の特定課題又は、技術内容を充分理解し得るよう専門家を招き集団学習を行うものである。今年度は、沖縄本島地区でリューセロ社長の知名洋二氏を講師に招き、「海の村おこし運動について」と題して、講演を行った。

今回の学習会は、第18回沖縄県漁村青壮年婦人活動実績発表大会において行われた。

当日は、漁協青壮年部、婦人部、県漁業士、漁業組合員、系統団体、関係機関、市町村担当職員等（210名）が参加し、活発な討議が行われた。

講演の中で、知名社長は沖縄は、「依存型社会」から「自立型社会」を目指すべきだと、力説した。その背景には、東南アジアを何度も経済社会視察をした印象として、数年前までは、日本の終戦後のような社会であった東南アジアで大変な勢

いで変革が起こっている。工業優先社会が今日の日本経済を支えてきたが、二、三年前のバブルの崩壊を起点に、東南アジア諸国が『日本を見習え』から『日本を見直せ』という社会にきているのではないかと指摘された。

そこで、沖縄の経済を振り返って見ると、終戦後の『ギブミー』社会が、沖縄にはいまだに残っているのではないだろうか。これが『依存型社会』だ。自立型社会を形成しなくてはならない。私は、沖縄県民は自立経済のできる県民だと信じている。それには、数百年前の交易社会を思い返すべきではないかと話し、水産業への提言として、企業的発想で水産業を見つめよう。また、今、我々は、まさに発想の転換の時期であり色々のイベントを創り出し、それを手段として利用し継続性のある産業を見出せと結んだ。

3. 技術交流会

この事業は、後継者の漁業及び漁家生活に関する考え方、技術等について地域相互間の交流を行い、技術・知識の向上を図るため、グループ代表者を県内又は県外に派遣し、先進技術等の交流活動を行うものである。今年度は、『パヤオ直売店等視察』平成6年7月6日～7日平良市、池間漁協から読谷、沖縄市漁協へ直売店視察等技術交流会を行う。今回の交流会は、流通の改善を図っている直売店の運営状況並びに、漁業生産グループとの技術交流を通して、漁協、漁業者の知識の向上を図る目的で実施された。

『魚類の養殖と流通』については、平成7年3月1日～4日の間、与那国漁協青年部が羽地漁協大宜味塩屋養殖グループとの技術交流会が行われた。夕方は、本部漁協において、魚漁養殖情報交換会が開催された。（参加漁家：与那城、今帰仁、伊江、与那原町、名護、羽地）詳細については、

実績報告書参照。

4. 漁村青壮年婦人活動実績発表大会

この事業は、漁村青壮年及び婦人、研究グループが自主的な活動実績を発表し、相互の知識と技術の交流を図り、活動意欲を高めると共に地域の生産技術の向上、経営の改善に寄与することを目的として開催されたものである。

今年度は、下記の通り4地区の代表による活動

実績発表がありました。

最優秀賞には『シャコガイの資源管理への取り組み』と題して発表した恩納村漁協貝類生産部会の『當眞正守氏』に輝いた。

同生産部会は、組織的にシャコガイの種苗放流技術を取り入れると同時に、卓越した漁場管理を実践し、禁漁区の周知徹底を図る等、生産効果をあげた功績が評価された。

発表者	発表課題	所属グループ
當眞正守	シャコガイの資源管理への取り組み	恩納村漁協貝類生産部会
大城馨	観光漁業への取り組みについて	糸満漁協豊見城青壮年部
垣花武重	タチウオ漁業と流通について	浦添宜野湾漁協タチウオ生産部会
大城ユミ	伝えたい島の味島の心を	竹富町細崎さわやか生活改善グループ

5. 漁村青少年協議会

第1回 H.6.6月30日(木)

水産業改良普及所(本島地区)

- 議題 (1)平成6年度若い漁業者育成確保促進事業実施計画について
(2)平成6年度若い漁業者育成確保促進事業(アンケート調査)について
(3)漁村婦人はつらつライフ事業について
(4)平成6年度漁村婦人活動実績発表大会の推薦依頼及び普及所の取り組みについて

- その他 (1)普及事業に対する漁村青少年協議会の要望に関すること
(2)漁協青壮年部活動の取り組みについて

第2回 H.6.10月31日(月)

水産業改良普及所

- 議題 (1)平成7年度若い漁業者育成確保促進事業実施計画について
(2)平成6年度漁村青壮年婦人活動実績

発表大会の取り組みについて

- (3)平成6年度漁村婦人はつらつライフ事業実施状況について
(4)平成5年度若い漁業者育成確保促進事業実施状況(報告)

- その他 (1)平成5年度県漁業士会事業実施状況(報告)
(2)平成6年度漁協青壮年部実態調査結果(報告)

第3回 H.7.2月27日(月)

水産業改良普及所

- 議題 (1)平成6年度若い漁業者育成確保促進事業実施状況について
(2)平成6年度漁村婦人はつらつライフ事業実施状況について
(3)平成7年度若い漁業者育成確保促進事業実施計画について
(4)漁協青壮年部巡回移動相談の実施について
(5)その他

沖縄県漁村青少年協議会委員名簿

本島地区委員

氏名	代表区分	所属
上田不二夫	学識経験者	沖縄県立水産高校教諭
筋和良	漁村青壮年グループ代表	県漁協青壮年部連絡協議会長
佐久本重夫	"	石川市漁協場管理委員
島袋博幸	"	宜野座村漁協事務
木村正明	漁業団体の職員	県漁連課長補佐
石垣末子	"	係長
高江洲文子	"	中城沿振協事務局長・副会長
伊計光也	"	与那城村漁協参事
宮里義高	指導漁業士	伊江漁協
玉城雅夫	市町村の職員	糸満市役所

第1回漁村青少年協議会（八重山地区）

開催月日：平成6年9月19日

開催場所：八重山漁協会議室

参加者：委員6名

議題

- (1) 平成5年度普及事業実績報告
- (2) 平成6年度、7年度普及事業について
- (3) その他

議題

- (1) 漁協青年部活動の活性化について
- (2) 普及事業について
- (3) その他

第3回漁村青少年協議会

開催月日：平成7年3月31日

開催場所：八重山漁協会議室

参加者：委員6名

議題

- (1) 漁協青年部の活性化に係るイベントの開催について
- (2) その他

第2回漁村青少年協議会

開催月日：平成7年2月11日

開催場所：八重山漁協会議室

参加者：委員6名

八重山地区委員

氏名	代表区分	所属
石橋矩久	学識経験者	日本栽培漁業協会八重山事業場
吉村乗勝	市町村の職員	石垣市役所経済部水産課
伊良部幸吉	漁業団体の職員	八重山漁業協同組合
比嘉康雅	"	八重山漁業協同組合理事
宮良恵子	"	八重山漁業協同組合
平良勇	漁村青壮年グループ代表	八重山漁協青年部長

第1回漁村青少年協議会（宮古地区）

開催月日：平成6年6月9日（木）

開催場所：宮古支庁会議室

参加者：委員5名 事務局3名

議題

- (1) 平成6年度漁業生産の担い手育成事業計画について
- (2) 平成6年度漁業青壮年婦人活動発表大会の取り組み
- (3) 平成6年度宮古地区普及計画の説明
- (4) その他 意見・情報交換

第2回漁村青少年協議会

開催月日：平成7年3月3日（金）

開催場所：伊良部町漁協会議室

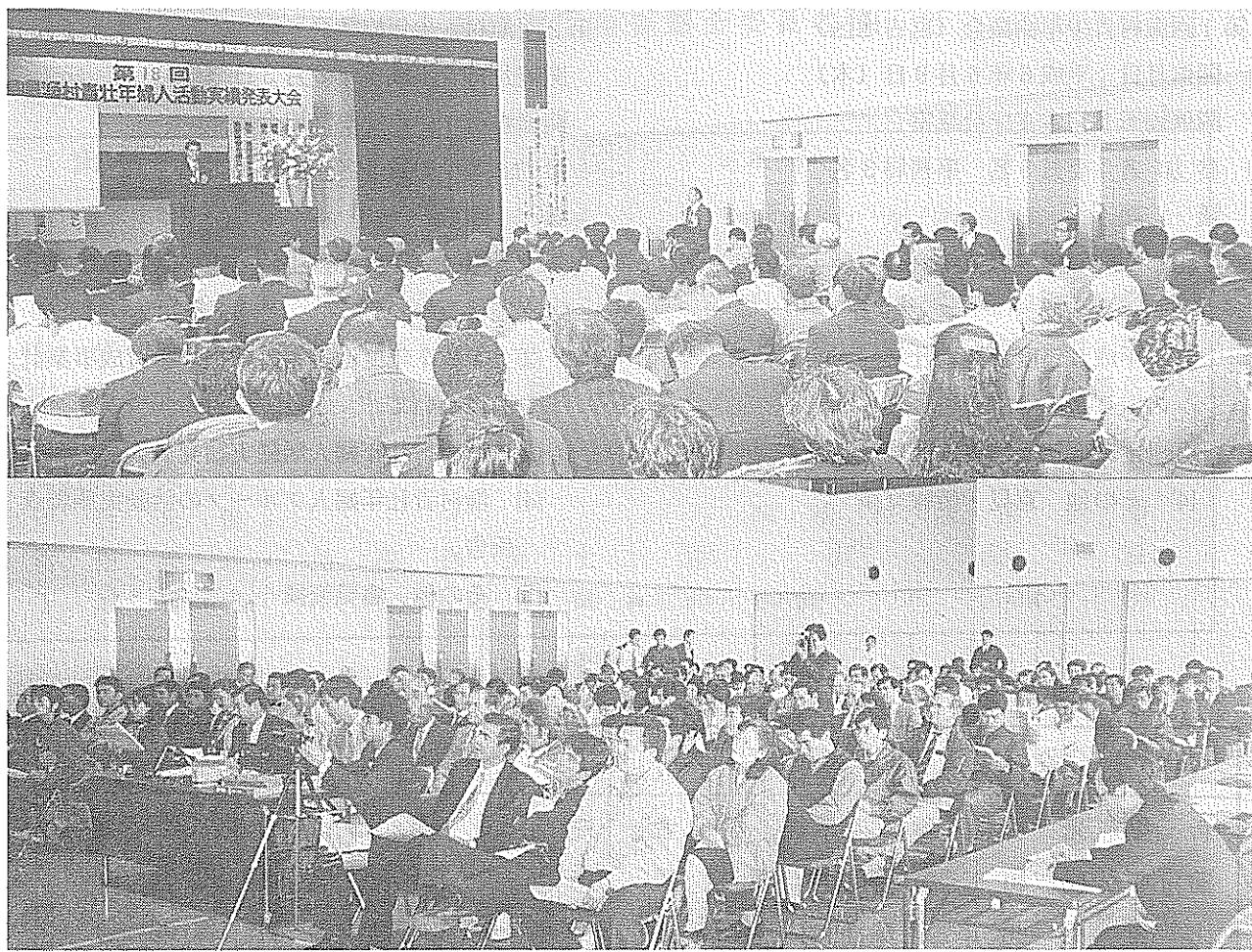
参加者：委員5名 事務局3名

議題

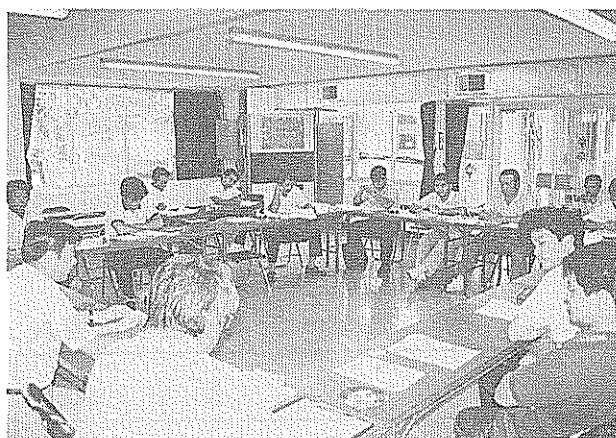
- (1) 平成6年度漁業生産の担い手育成事業実施状況について
- (2) 平成7年度漁業生産の担い手育成事業計画について
- (3) 漁村青壮年婦人活動実績発表大会の報告
- (4) 漁村青壮年婦人グループの活動実態調査報告
- (5) その他、意見交換

宮古地区委員

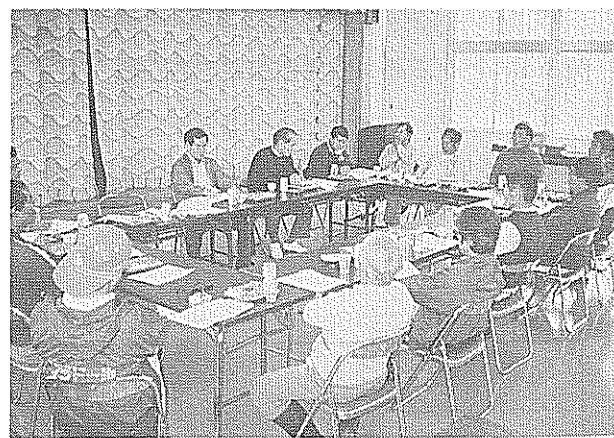
氏名	代表区分	所属
新里光弘	学識経験者	県立翔南高校教諭
前原成和	市町村の職員	伊良部町役場水産課
上里英男	漁業団体の職員	平良市漁業協同組合
伊良波淳世	"	伊良部町漁業協同組合(組合員)
普天間一子	"	伊良部町漁業協同組合



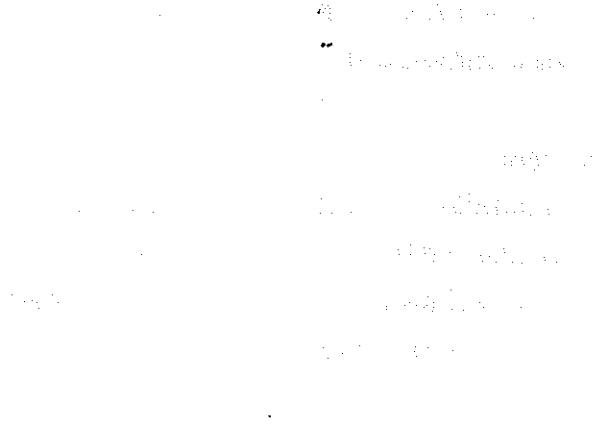
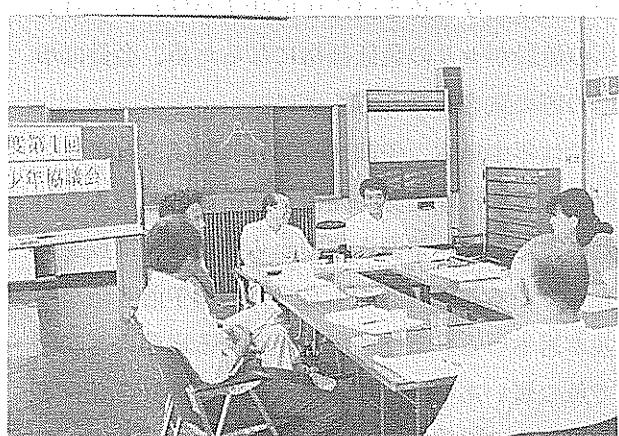
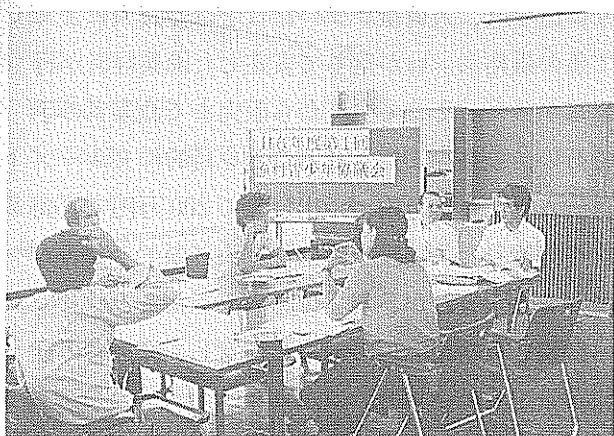
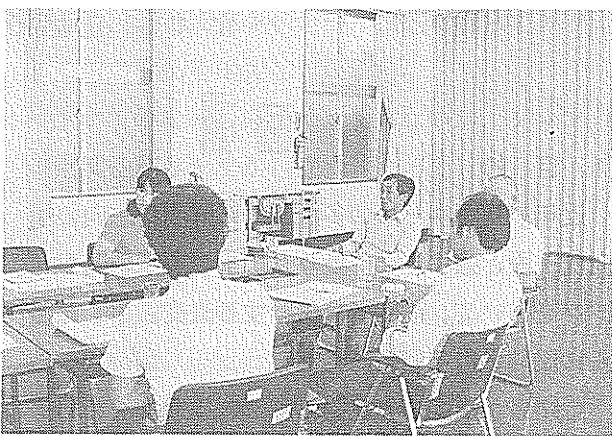
第18回漁村青壮年婦人活動実績発表大会



平成6年度漁協青壮年部部長事務局会議



漁協青壮年部巡回移動相談開催
(平成7年2月22日 石川漁協青壮年部スタート)



本日は、第1回青少年協議会を開催いたしました。この会議では、青少年の意見を反映するための活動や、青少年の問題解決策について話し合いました。また、青少年の意見を反映するための活動や、青少年の問題解決策について話し合いました。

本日は、第1回青少年協議会を開催いたしました。この会議では、青少年の意見を反映するための活動や、青少年の問題解決策について話し合いました。また、青少年の意見を反映するための活動や、青少年の問題解決策について話し合いました。